



広報

ふだい

「**気を付けて登校してね**」

交通安全の普及・啓発を目的とした交通安全街頭指導が4月9日、普代郵便局前と普代分署前で行われました。新園児、児童が通園通学をしているこの時期、保護者もドライバーも交通安全への意識を高め、子どもを交通事故から守りましょう（関連記事 15頁）

スマホをかざすと
表紙が動く！



ココアル 検索

無料アプリをダウンロード

今月の内容

征屋村長の施政方針演述、27年度予算 2～11
村内人の動き、ようこそ地球村へ、鶴鳥神楽の記念公演・祝賀会
ほか村の話 12～15

みんなのひろば、三鉄歓迎イベントほか 16～19
くらしの情報、カレンダー 20～23
ウォッチング北緯40度 24

1日も早い完全復興を目指し

「発展期」を力強く推進!



所信を述べる梶屋村長

「復興加速年」で基盤復旧が完了

平成27年第2回村議会定例会が3月3日から6日までの4日間開かれ、27年度の予算など30議案が原案のとおり可決されました。初日の施政方針演述で梶屋伸夫村長は「復旧・再生期」の取り組みがおおむね計画に沿って推進されました。平成27年度からの「発展期」の取り組みも力強く推進していきま

す」と所信を表明し、復興5年目の具体的な考え方をなどを明らかにしました。

震災前にも増した村の活性化と成長を目指した施政方針演述の、主な内容や予算などについてお知らせします。(2ページ～11ページ)

はじめに、3月2日に本村伝統芸能の「鶴鳥神楽」が、国指定重要無形民俗文化財に認定されました。ながきにわたり保存・伝承活動に携わってこられた先人の方々に始めとする関係皆さまのご尽力と村民の皆さまのご支援が、国の宝となる認定につながりましたこと、村を挙げて喜びとするものであります。

震災前の村の活力が回復!

平成23年6月から震災復興事業の

多くの団体などとの災害時協定が締結されたところであります。

「震災前の活力の回復」は、「まるごと元氣市」が新たに加わるなど、震災前にも増した元氣づくりイベントが開催されております。中野流鶴鳥七頭舞やふだい荒磯太鼓の海外公演も実施され、観光大使や昆布大使の設置、ご当地キャラの認定で、活発な村の発信が行われるようになりました。さらには銀次選手の活躍や普代シイ

施策 1

村復興計画に基づく、東日本大震災からの復興への施策

震災からの復興では、普代浜園地の復旧を完了させるほか、人口減少を抑制し、若い世代の結婚・子育ての希望をかなえ、産業・経済の活性化も図ります。

普代浜の復旧・整備を推進

観光復興の象徴となる普代浜園地の復旧は、面工事が完了しているの

で、環境省による休憩施設など(シャワー室、トイレ・東屋、緑地、1億1640万円)の整備を連携して取り進め、周辺の緑化(100万円)を行い、スポーツ交流広場の整備に向けた検討を進めてまいります。

同南側地区は、復興交付金による

まち・ひと・しごと創生へ

「復興祈念公園(仮称)」(4806万7千円)の整備に取り組んでまいります。普代浜園地が、1日も早く村民の皆さまの憩いと観光交流の場としてよみがえるよう努めてまいります。

各漁港には避難場所への誘導看板(479万3千円)を設置し、迅速・円滑な避難環境を整えてまいります。

1日も早い完全復興を!

タケのダブル日本一が後押しとなり、村の活力の回復も図られてきていますと感じております。

震災から4年間の「復旧・再生期」の取り組みが、おおむね復興計画に沿って進められてきましたこと、村民の皆さまや議員各位、関係機関・団

産と加工・流通の一体的な水産業の復興が完了し、意欲と希望の持てる生産などが再開されております。先般公表された平成24年度市町村民所得では、前年度比18.8%増となり、二戸・久慈・宮古地域の町村のトップでありました。

「住民生活の再生」は、村道や県道はもとより、三陸鉄道が全線運行再開されるなど生活基盤も完全復興となりました。普代道路の開通や駅前復興ふれあい広場の供用が、全村的な復興前進の共有につながり、村民の皆さまの日常生活が震災前の落ち着きを取り戻し、コミュニティ活動なども回復しているところであります。

「災害に強い村づくり」は、小・中学校から「命の道」への避難階段、堀内・沢海岸の避難路、太田名部の避難村道上の沢線が整備となり、普代水門なども補強され、消防分署の建設工事にも着工となりました。

防災無線はデジタル化により復旧となり、2地区で自主防災組織が設立され、防災計画による諸訓練も徹底されるなど、総合的な避難対策の充実が図られてきております。さらに、矢巾町との災害応援協定など多

体の全力を挙げての取り組みのたまものであり、深く感謝の意を表します。復興へのご支援を続けていただきました全国の皆さまにも村を代表し、お礼を申し上げます。

そして、平成27年度からの復興計画後半の「発展期」の取り組みもより力強く推進され、1日も早く「完全復興」を宣言する日を迎えられるよう、皆さまのご指導とご協力をお願い申し上げます。

婚・子育ての希望をかなえ、産業・経済の活性化を図るため「まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成31年度までの5年間の計画)」の策定(639万円)を、委員会組織(外部有識者や産業団体など15人構成)を設置して取り進めます。

先行型交付金を活用した、青の国ファンド事業(212万円)、U愛Jターン支援事業(750万円)、産業魅力アップ事業(333万2千円)なども実施し、上乗せ配分となる広域連携事業の提案にも努めてまいります。



各観光行事への支援を行います
(ふだいまると元気市夏の市)



防波堤(赤点線内)の整備が予定される堀内漁港



人材育成を含め、各保存・伝承活動を推進します
(中学校神楽同好会アメリカ公演)



幼・小・中一体となった教育の充実に取り組みます
(中学生による園児への読み聞かせ)

施策 2

教育・スポーツ・文化の振興と交流の拡大 活力ある産業を育てる施策

幼・小・中の一貫教育をさらに充実させ、生涯スポーツや芸術文化などの振興も図ります。また、各種産業の活性化を図り、所得の向上も目指します。

学校給食センターを建設

村の未来を担う子どもたちが、たくましく社会に羽ばたいていけるよう、子ども園、小・中学校、家庭、地域が一丸となり教育力の向上を図るとともに、村民の皆さまが生涯にわたり生き生きと学ぶ機会の充実、文化・芸能の振興や交流の拡大などに一層の取り組みを行います。

「はまゆり子ども園」は、園庭や駐車場が拡充され、元気に遊び・学ぶ環境が整いました。家庭教育を含めた、幼児教育と保育の質の向上に取り組みながら「子ども・子育て支援新制度」に対応した運営に努めてまいります。

学校教育は、小・中一貫教育の推進を支えながら、一貫校の整備について、完了した既存校舎活用型調査に加え、全体新設型の調査(補正繰越分、192万円)を行い、平成27年度末には整

水産業の担い手確保・育成

農林水産業、商工・観光業の活性化に取り組み、その魅力や競争力を高め、6次産業化を推進し、地場産品の高付加価値化と経営の強化を図り、生産基盤の整備、着実な担い手対策、地場産業の飛躍や村民所得の向上に努めてまいります。

水産業は、新規就業者支援協議会(仮称)を設置(10万円)し、担い手の確保・育成に積極的に取り組むとともに、村漁業協同組合が策定した浜の活力再生プランの着実な推進を支援してまいります。

漁港整備は、太田名部と堀内の防波堤(事業費8億8000万円)を復興枠(村の実質負担ゼロ)で実施し、沢の斜路(570万円)と白井(5000万円)、黒崎(最終年・実質負担ゼロ、5000万円)に防波堤を整備します。

しいたけ生産の支援を強化

農業は、園芸施設の整備(1/6、175万1千円)を支援するとともに、土壌消毒や遮熱対策、種子助成(寒じめほうれん草、枝豆など)、価格安定化対策(56万円)などを行い、遊休農地や未

備方針の決定がされるよう具体検討を進めます。学校特別支援員の配置(729万4千円)、学習塾開設(71万7千円)、放課後子ども教室開催(345万1千円)、地域協働推進事業(159万8千円)なども支援し、学力の定着・向上に取り組みます。

なお、学校給食センターは、国の補正予算が内定となりましたので、旧陸中製材所敷地を予定地とした整備(繰越分含、2億9482万1千円)に取り組みまいります。

社会教育は、地域づくりにもつながることから、多様な機会の提供に努め、スポーツ教室(村397万円、はまスポ892万5千円)のほか、村長杯、教育長杯(20万9千円)などの大会を積極的に開催し、生涯スポーツの推進に取り組みます。希望郷いわて国体の軟式野球会場に決定している運動公園野球場の改修(6090万円)にも取り組み、その成功を期してまいります。



広くなった園庭で伸び伸び遊ぶ園児たち

文化・芸能の振興は、地域の個性や魅力の発信、郷土愛の醸成に重要であることを踏まえ、3月7日にインドネシア公演が予定される「鶴島神楽」や「中野流鶴島七頭舞」、「ふだい荒磯太鼓」などの保存・伝承に一層努め、文化団体の活動支援(100万円)も継続してまいります。

利用ハウスの再活用事業(125万円)にも新たに取り組みます。

鳥獣防除は電柵設置(1/2、25万円)の補助率を高め、取り組みを強化します。普代ダムでの小水力発電は工事契約となりましたので系統連系の申請後に平成28年度の供用を目指し着工となります。

林業は、原木しいたけの植菌助成(3/4、243万円)やコナラ造林助成(85万1千円)を行い、しいたけ生産への意欲が高まるよう取り組んでまいります。また、天然林・混合林化の推進が一層求められることから、特定間伐等事業の拡大に向けた取り組みも強化してまいります。

観光・商業の活性化を図る

商業は、地元の消費拡大のため商品券補助(消費喚起交付金、400万円)とアンテナショップの運営委託(973万円)を行い、特産品の販路拡大などを支援します。また、商業振興補助(350万円)により経営指導などを支え、経営安定のための振興資金預託(1000万円)を継続し、設備投資や運転資金の確保を支援してまいります。

観光振興は、「ふだいまつり」や「まると元気市」などの観光行事へ支

雇用とU・Iターンを支援

雇用対策は、村内事業所などでの若年層の雇用拡大が図られるよう、ふるさと雇用促進助成(新卒1年未満及びU・Iターンの30歳以下対象、1人月5万円、事業費180万円)を実施するとともに、管内連携による地域雇用創出事業(3年間全体枠、2億5000万円)にも取り組み、村内での雇用の創出に努めてまいります。

国民宿舎くるさき荘は、復興需要による高い稼働率が続き、震災後の4年間で7700万円の営業黒字を計上する見込みであります。引き続き特需の獲得に努め、その後の観光誘客への取り組みを強化し、健全経営の維持に努めてまいります。施工中の本館解体後に、客室の改修(1億3330万円)を予定し、誘客環境を高め、より安全・安心で快適な施設となるよう取り組みてまいります。



各交通の強化に努めます
(柏木平地区トンネル工事の安全祈願祭)



村営住宅などの生活環境整備を行います
(芦渡地区住宅)



子ども園の給食費を全額助成するなど子育て支援の日本一を目指します



高齢者の生きがい活動の充実に努めます

施策 3

保健・医療・福祉や環境保全対策、生活環境充実のための施策

保健・医療・福祉が連携を強め、健康づくりや介護予防を推進し、再生可能エネルギーや生活環境も整備して、より一層の居住環境の改善へ取り組みます。

予防接種の無料化を継続

人口減少、高齢化社会が進出し、医療介護資源が希薄化する中で、村民の皆さまが心身ともに健やかな暮らしを送れるよう、保健・医療・介護・福祉の連携により、健康づくりや介護予防の一層の充実に取り組むとともに、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域包括ケアの推進に努めてまいります。

また、子どもを安心して産み育てることができ、高齢者や障がい者などの社会参加が図られ、支え合いと助け合いの活動なども一層浸透するよう取り組みます。

保健活動は、生活習慣病や心の病の改善のための取り組みのほか、特定健診の受診率向上に資する検診一部負担の免除や、インフルエンザ、肺炎球菌などの予防接種の無料化を継続してまいります。

諸施設の運営をさらに充実

高齢者保健福祉は、介護報酬の引き下げに対応するよう、くろさき小規模多機能ホームへの運営助成(350万円)を行うなど、普代福祉会と連携し、諸施設の運営の充実と安定したサービスの提供が図られるよう取り組んでまいります。

シルバー人材センターの活動支援(260万4千円)も行い、元気な高齢者の生きがい活動の一層の充実に努めるとともに、福祉灯油券の支給(消費喚起交付金、130万6千円)も行つてまいります。

子育ての支援を日本一へ!

子育て支援などは、保育料、高校生までの医療費や村営バスの無料化などに加え、新たに子ども園の給食

廃棄物対策は、一般ゴミの減量化が急務であり、家庭での生ゴミ処理の推進や分別回収の徹底、古着の回収拡大などに努めるとともに、資源リサイクル活動への助成(18万円)も継続して行います。

再生可能エネルギーを導入

再生可能エネルギーは、新消防分署(5780万5千円)や地区集会施設など(1672万4千円)への導入を行うとともに、各家庭での太陽光発電利用を村営助成(8戸、120万円)で支援してまいります。

住宅等生活環境整備は、村営住宅を堀内地区(1戸、1840万円)と上区地区(沢山橋改良解体の代替1戸、1700万円)で建設し、芦渡地区住宅の補修(400万円)、南浜地区住宅の移転地の測量調査(100万円)も進めてまいります。引き続き、個人住宅リフォーム助成(15戸、150万円)も行い、一層の居住環境の改善を支援してまいります。

川や海的环境保全を強化

汚水処理の普及は、浄化槽設置補助の村単高上げ(通常の6割アップ、

11戸、770万6千円)を行い、その普及に努めるとともに、堀内地区漁村センターの浄化槽化(1000万円)も行つてまいります。

川や海的环境保全に資するよう、「普代川を守る会(仮称)」の設立や活動支援(10万円)、「魚の住みやすい川づくり事業」(魚道整備、200万円)に取り組んでまいります。

日・祝日に周遊バスを運行

道路整備は、普代駅前道路(沢山橋)改良(770万円)の用地・物件補償を進め、次年度の本体工事着工を期してまいります。堀内中央線改良(1800万円)、萩牛線改良(3000万円)も継続し、黒崎港線改良の測量設計(1000万円)にも着手します。

村政懇談会での要望に^{こた}えるよう、災害防除、水路修繕など(530万円)に順次取り組み、併せて、道路、橋の計画的な修繕に資するよう道路ストック点検事業(3000万円)にも着手してまいります。

普代小屋瀬線改良は、芦渡地区で

一般ゴミの減量化が急務

優れた自然環境を守っていくため、再生可能エネルギーの導入や資源循環対策などに取り組みます。また、定住促進のための村営住宅の整備や水道施設の改修、汚水処理の普及、生活道路の整備に努めてまいります。

用地確保と2カ年の工事に着工となります。三陸沿岸道路は、尾肝要普代道路、柏木平地区トンネル(2本)の12月貫通を目指した工事などが進められ、久慈〜野田道路は工事契約となりましたので、力持・長途間のトンネル工事が進められます。

高齢者などの生活の足である村営バスは、昨年度からワンコイン化しておりました。平成27年度からは、観光シーズン(5月〜10月)の日曜・祝日にもトレイル・ジオパーク周遊バスとして運行(地方創生交付金、利用料無料、197万円)し、村民や観光客の利便性向上に資してまいります。

昨年度からワンコイン化している村営バス





人口減少により、普代村を消滅させません！
(人口減少PTによる特定課題地域懇談会)



水産業の復興を力にし、観光施設などの復興を加速します(ワカメ漁、3月31日)



職員の接客改善に努め、村民の皆さまに親しまれる明るい役場を目指します



防災計画などに基づき防災力の強化に努めます(建設が進む新消防分署)

安全安心な村づくりを推進

消防防災は、震災の経験を踏まえた防災計画などによる防災力の強化を推進してまいります。施設整備は、新消防分署建設(繰越分含、2億2073万6千円)を進めるとともに、

第2分団ポンプ自動車用の基金積立(242万1千円)を行ってまいります。また、太田名部水門などの改修(ステンレス水門、アルミ陸圍)の支援も行っております。予防事業では、土砂・津波災害を網羅する防災マップの作成・配布を行い、啓発に努めます。また、防災訓練は、久慈広域総合

防災訓練を兼ねて、大規模災害時の広域活動の円滑な受援の訓練を行うこととします。交通安全は、関係団体と連携し、啓発物品(18万円)の配布などを引き続き行い、事故防止と飲酒運転撲滅の徹底を図り、死亡事故ゼロの継続と安全・安心な村づくりの推進に努めてまいります。

施策 4

行財政改革などを推進する施策

村民と行政の協働の村づくりを進め、村民参画の拡大を進めます。職員の資質向上に積極的に取り組むほか、久慈広域連合と事務事業の円滑な推進に努めます。

村民の満足度向上を目指す

時代の変化に対応しつつ、魅力あふれる村を創生していくためには、村民と行政との協働の村づくりが重要であります。各自治会などと連携し、観光・交流分野への若者や女性、高齢者などの参画の拡大が図られるよう取り組みます。

行政改革は、村民の皆さまの満足度向上のため、生活・生産の現場を優先する事務事業の推進や、職員の



新採用の中村翔さん(左)と日ノ沢佑紀さん

接遇改善、資質の向上に積極的に取り組み、村民に信頼される役場づくりに努めてまいります。財政運営は、集中復興期間後(平成

28年度以降)の復興交付金や震災特交の財政支援が不透明であり、国の財政再建への取り組みが一層強化されることも踏まえ、今後も、より確実な財源補足とコスト削減、補助・助成、優遇起債の極力の活用を徹底し、健全化に努めてまいります。なお、財政調整基金は、この4年間で4億3千万円の増額(平成23年5月末の6億2874万6千円が平成27年現計で10億6154万9千円)となり、健全額を確保しております。今後の小・中一貫校の整備財源の確保を踏まえた中で、不測の災害に

し尿処理場の整備を推進

広域行政は、久慈広域連合での、第

6期介護保険事業による、地域包括ケアシステムの推進や認知症高齢者へ支援体制の充実などに取り組むとともに、し尿処理場の新設整備の推進、救急・救助・消防力の強化に構成市町村と連携して取り組んでまい

ります。また、沿岸知的障害児施設組合での良質な事業の継続や、岩手北部広域環境組合では、九戸村が行う早急な解散に向けた手続きなどを強く後押ししてまいります。

復興計画「発展期」の初年度 復興を加速し、人口減少にも立ち向かう

平成27年度は、災害復興計画による「発展期」の初年度となります。水産業の復興による活気を力とし、観光施設などの復興を加速しながら、完全復興を宣言できる日を1日も早く迎えるよう「復旧・復興から成長・発展に繋がる」取り組みを強く推進してまいります。

これまでに、いくたの大災害を始めとする困難に遭遇しながら、これを先人の不撓不屈の精神と血のにじむ努力により克服し、よみがえり続け、東日本大震災からの完全復興も着実に近づきつつある中、139年目を迎えるようとしております。その普代村を、人口減少により「消滅」させることは、先人の誇り高き血と精神に恥じるものであります。

併せて、「総合発展計画(前期)」や「過疎地域自立促進計画」の仕上げの年度となることを踏まえ、その到達目標である「笑顔が満ちあふれる村づくり」の一層の前進に向け、貴重な歴史・文化・伝統、安全・安心な農林水産物など、あらゆる資源を掘り起し、磨き、生かし、発信し続けながら、その新計画の策定にも取り組んでまいります。

「消滅してたまるか」との熱き思いを共有し、「小さいからこそできる力の結集と発揮」により、次世代にも、より健全で誇れる村を引き渡すことができるよう、最大の努力を傾注し、その先頭に立って取り組む決意をいたしております。

普代村は明治9年に村政施行され、

村民の皆さまを始め、議員各位並びに関係諸団体の皆さまには、復興

から成長・発展への取り組みと地方創生の推進に、共に頑張っていただき、ふるさとを決して消滅させないよう、特段のご指導とご支援を心からお願ひ申し上げます。

笑顔が満ちあふれる村を目指します





平成27年度の村づくりの基本となる当初予算が、3月定例会で決まりました。一般会計当初予算は29億9,200万円（前年度比9・3%増）です。本年度は運動公園野球場やくろさき荘の改修、復興祈念公園を整備するなど、震災前にも増した活力ある村づくりを進めます。

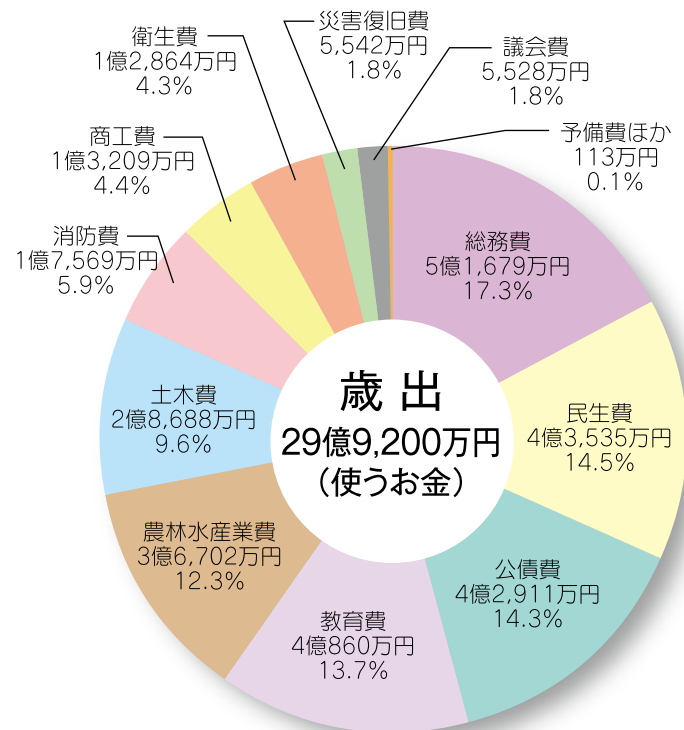
各支出金が大幅な増
 一般会計予算は、村の基本的な仕事に充てるお金のことで、歳入と歳出に区分されます。
 主な歳入は、村税が1億9,948万円（前年度比7・5%増）で、国から交付される地方交付税が14億8,162万円（同6・9%増）、村債が4億3,570万円（同30・6%減）。
 各補助金や交付金で国庫支出金は2億8,753万円（同69・6%増）、県支出金は1億9,331万円（同25・0%増）とそれぞれ大幅な増となりました。
消防費は大幅に減
 主な歳出は、総務費が5億1,679万円（前年度比19・8%増）、消防費は大幅に減少し1億7,569万円（同49・7%減）となりました。また農林水産業費は、堀内、太田名部漁港の機能強化事業負担金などにより、3億6,702万円（同82・1%増）となりました。
 特別会計の予算総額は11億6,120万円（6・5%増）となっています。

29億9,200万円で消防分署や給食センターを完成へ

普代駅前道路（沢山橋）の改良、くろさき荘や運動公園野球場の改修、復興祈念公園の整備などを盛り込む

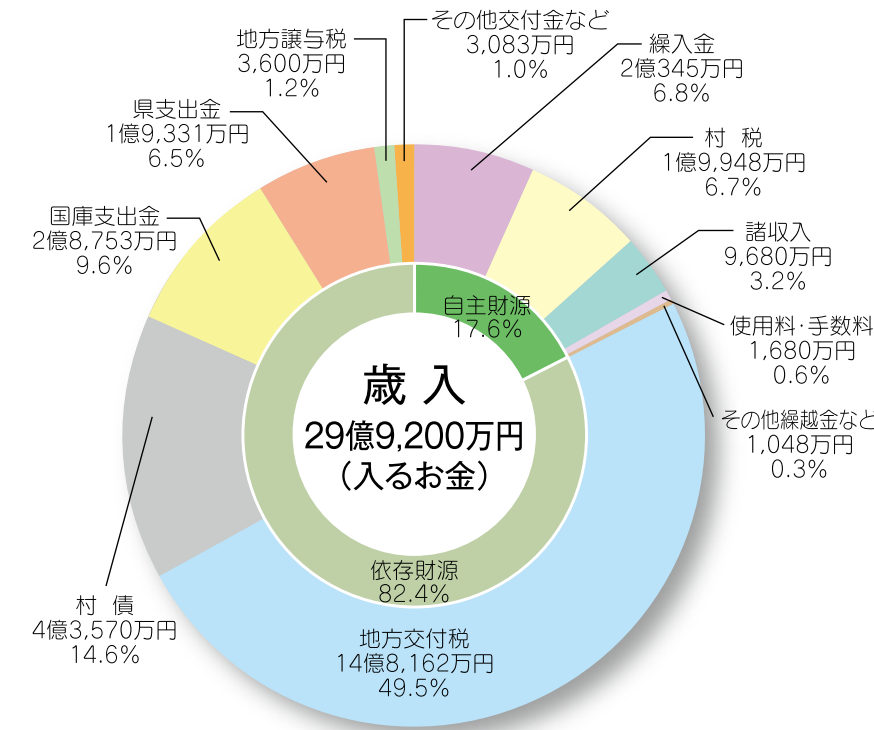
平成27年度の主な事業	
事業内容	予算額
普代駅前道路（沢山橋）の改良	7,700万円
学校給食センターの施設整備など	1億5,261万円
くろさき荘改修	1億3,330万円
運動公園野球場の改修	6,090万円
復興祈念公園の整備	4,809万円

用語の説明（歳出）	
総務費	村長や議会議員、職員などの人件費や財産管理、地域振興などに使うお金
民生費	高齢者や障がいを持った人、児童の福祉推進、子ども園の管理に使うお金
公債費	公共事業などの財源に借りたお金の返済に使うお金
教育費	小・中学校の管理運営や施設整備、生涯学習、文化財保護などに使うお金
農林水産業費	農林水産業などの振興に使うお金
土木費	道路や公園、公営住宅の整備などに使うお金
消防費	普代分署や消防団の運営など、消防活動や救急活動に使うお金
商工費	商業や観光の振興などに使うお金
衛生費	ごみ、し尿の処理や健康増進事業に使うお金
災害復旧費	東日本大震災など災害の復旧に使うお金



歳出の構成比

特別会計予算額（ ）内は前年度比		
総額 11億6,120万円		
国保事業	5億1,790万円	(1.1%)
国保診療施設事業	2億1,040万円	(△1.4%)
簡易水道事業	1億2,820万円	(9.1%)
休養施設事業	2億5,440万円	(112.2%)
漁業集落排水事業	2,180万円	(2.3%)
後期高齢者医療事業	2,850万円	(9.2%)



歳入の構成比

用語の説明（歳入）	
地方交付税	国から交付されるお金
村債	国から借りたお金
国庫支出金	事業を行うための国からの補助金
県支出金	事業を行うための県からの補助金
地方譲与税	国税として徴収され、そのまま国から市町村などへ与えられたお金
繰入金	財源を確保するため村の預金から取り崩したお金
村税	村民税や固定資産税など皆さんから集めたお金
諸収入	村の預金利息や貸付金の元利収入
使用料・手数料	住民票などの証明書の発行のために納められたお金
その他繰越金など	前年度から繰り越されたお金

正路與七さん元気に100歳



梶屋村長、親族と記念撮影する正路さん（前列左から2番目）

黒崎の正路與七さんが3月28日、自宅で100歳の誕生日を迎え、親族に囲まれて長寿を祝いました。親族が見守る中、梶屋村長が祝い金5万円と直筆の色紙を手渡しました。

正路さんは大正4年生まれで子どもが3人、孫が3人、ひ孫が5人います。男性での100歳到達は村内では初めてです。

新入学期の交通事故防止推進期間



ティッシュや黄色い羽根を配布し交通安全を呼び掛けます

新入学期の交通事故防止推進期間が4月6日から4月15日まで展開され、4月9日に、交通安全関係者など約30人が普代郵便局前と普代分署前で交通安全の普及・啓発を目的とした街頭指導を行い、登校、登園する児童生徒や園児に交通安全のティッシュや黄色い羽根を配布して交通安全を呼び掛けました。

また期間中には小中学校で交通安全教室が行われ、正しい横断歩道の渡り方や自転車交通指導をとおして児童生徒は交通安全への意識を高めました。

新園児、児童が通園通学をしているこの時期、保護者もドライバーも交通安全への意識を高め、子どもを交通事故から守りましょう。

村に春を告げる養殖ワカメ漁 3月末で1,024トンの収穫



海に浮かぶ漁り火は幻想的な雰囲気を醸し出します

村に春の訪れを告げる養殖ワカメ漁が3月16日に始まりました。3月31日の堀内漁港では午前0時すぎ、数隻の船が月明かりと船のマスト灯を頼りに沖にある養殖棚へ向かいました。午前1時すぎ、約1時間の刈り採りを終えた漁師さんは船いっばいにワカメを積み帰港。その後、各家の倉庫などに刈り採ったワカメを運び、メカブや莖に選別する作業が一家総出で行われ、夜明けまで続きます。

選別されたワカメは村漁業協同組合に委託し、県漁業協同組合連合会や全国漁業協同組合連合会を通じて、各業者に販売されるほか、各家庭の食卓に並びます。村漁協によると3月末での村養殖ワカメの収穫量は1024トで、昨年同時期の1086トと比べると62トの減。一方、販売単価は1キあたり87円で昨年の同時期77円と比べると10円の増となっています。



収穫されたワカメ。これから夜を徹しての選別作業が始まります

震災前は1000円以上で取引されていた村のワカメ。1日も早く風評が払拭され、震災前以上の取引額になることに期待が寄せられます。

鵜鳥神楽の国重要無形民俗文化財指定を祝い、記念公演と祝賀会（同実行委主催）が3月29日、国民宿舎くろさき荘で開催されました。記念公演には梶屋伸夫村長や大上浩史村議会議長のほか、村民など約90人が参集。鵜鳥神楽保存会の熊谷一文会長が「国指定は今のメンバーだけでなく活動の歴史がもたらしたものです。支援してくれた皆さんに感謝しています」とあいさつをし、神楽衆による「清

被い」、「山の神」、「恵比寿舞」の3演目の勇壮な舞が披露されました。祝賀会の開会前には鵜鳥神楽の発展と国指定に尽力された物故者に敬意を表する黙とうが行われました。その後、主催者を代表して梶屋村長が「国指定は鵜鳥神楽を未来永劫に守り続けるという命をたまたわったということです。村としても巡行の展開などを力強く支えていかなければと決意を新たにしています。今後も

鵜鳥神社の熊谷勝支総代長の音頭で乾杯が行われた後、各テーブルで鵜鳥神楽についての情報交換が行われるなど、皆さんは国指定を祝うとともに、重みなどを再確認しました。最後は鵜鳥神楽のますますの発展を願い、同神社の小屋敷亮二郎総代が3本で締めました。

国重要無形民俗文化財の鵜鳥神楽が3月7日、インドネシア・ジョグジャカルタで被災地交流を目的とした公演を行い、約300人の現地の人たちが「山の神」、「恵比寿舞」、「神楽」の3演目の勇壮な舞を鑑賞しました。日本でも高い人気を誇る「恵比寿舞」ではタイを釣る場面で、現地の人たちとユーモアある掛け合いをし、会場は笑いの渦に包まれたと言います。また現地の子どもたちによる郷土芸能も披露され、神楽衆も異国の芸能に触れました。

会場となったニティブラヤン村の集会場には300人以上が集まりました



鵜鳥神楽の記念公演と祝賀会 国指定を盛大に祝う



記念公演では「清被い」、「山の神」、「恵比寿舞」の3演目の勇壮な舞が披露されました



熊谷総代長の音頭で乾杯

鵜鳥神楽が海外公演で被災地交流 現地の人たちが勇壮な舞を鑑賞

日本でも高い人気を誇る「恵比寿舞」ではタイを釣る場面で、現地の人たちとユーモアある掛け合いをし、会場は笑いの渦に包まれたと言います。また現地の子どもたちによる郷土芸能も披露され、神楽衆も異国の芸能に触れました。

鵜鳥神楽は東日本大震災で、ジャカルタはジャワ島中部地震などで被害を受けた同じ被災地。今回の公演は被災地同士で交流を深めようと、独立行政法人の国際交流基金の主催で行われました。

おとうさん
おかあさん
あのね... 335



ことくん(左)とはるまくん
(はまゆり子ども園さくら組)

●みちしたことくん(道下瑚人・6歳)
から父・勝弘さん、母・直美さんへ

おとうさんはいつもおそくまでおし
ごとをしているよ。がんばってね。はや
やくかえてきたときはいっしょにゲ
ームしてあそぼうよ。ふたりでするゲ
ームたのしいよね。

おかあさんはピザやかつどんのおり
ょうりがじょうずだよ。おみせにいく
と、おやつをひとつだけいいよという
けど、たまにはいっぱいかってくれないか
な～。

●なかたはるまくん(中田悠真・6歳)
から母・雅代さんへ

ぼくのおかあさんはかみをきるおし
ごとをしているんだ。ぼくのかみもかっ
こよくしてね。かたづけろ!とこわいか
おでおこるけど、ぼくはやっているんだ
けどな～。でもだいすき!

イルカショーをみにいきたいからつ
れて行ってね。おおきくなったら口ポッ
トをつくるおしごとをしておかねもち
になっておいしいごはんをたべさせる
からまってね。



三田地商店

「1日1日最善を尽くします」



家族そろってスタンドで撮影



開業してすぐの外観写真を見せてくれ
ました

村中心街に位置する「三田地商店」。明治29年(1896)「三田地林業」として現在の店の位置で開業し、昭和30年には三田地商店と名を改め、再スタート。

三田地勇治さんは「当時はドラム缶でガソリンを買い付けた。三田地商店は素晴らしいです。村の魅力をごんごん発信していきたくて。見かけたらお気軽に声を掛けてください。」

■三田地商店

☆場所: 〒028-8335 岩手県下閉伊郡普代村 13-128-2

☆問い合わせ: ☎ 35-2108

ガソリンと一緒に、元気をくみに来ててください!

MY FRIEND Vol.82

友達の友達は...みんな友達。そんな思いを込めて自分の友人知人をリレーで紹介するマイフレンドコーナー。今月は旭白区の谷増剛さん(32)です。



海が大好きだという谷増さん。普代の海も気に入ってくれました。

『普代村は素晴らしいです』

広島県の広島市で20年、東京都で約10年過ごし、今年の4月から村の地域おこし協力隊として活動する谷増剛さん。地域の良さを知り、伝えることが過疎地域の発展のために大切だと考えていて、地域に入ってから活動したいと、いくつかの地域おこし協力隊の試験を受けました。

「普代村での面接試験終了後、村の地域おこし協力隊の鬼束さんに村を案内してもらい、多くの村民の方と触れ合っただけで自分を受け入れてくれた」と谷増さん。谷増さんは「普代村は素晴らしいです。日本に帰って来てから、その友だちに会いに行っています。それがきっかけで今では海外旅行が趣味です。まだ会えていない人もいるので会いに行きたいです」と谷増さん。

「普代村は素晴らしいです。村の魅力をごんごん発信していきたくて。見かけたらお気軽に声を掛けてください。」

◆小学生から一般向け

『小学生必須! 難語 2000マンガでクイズ』

福田 尚弘

小学生の多くが「難しい」と感じる日常語を2000抽出。マンガを読んで、話の内容にあった言葉を選ぶことで、言葉の知識を定着させる。

アーバン出版局

◆一般向け

『朝つめるだけで簡単! 作りおきのラクうま弁当 350』

平岡 淳子

朝のお弁当づくりをもっと楽しく! 日持ちのするおかずを週末にまとめて作って、冷蔵・冷凍保存。朝は詰めるだけの簡単なレシピをたくさん紹介。

ナツメ社

◆幼児向け

『はなちゃんの はやあるき はやあるき』

宇部 京子

野田村出身、宇部町在住の詩人、宇部京子さんが東日本大震災で全園児が高台避難し、難を逃れた野田村保育所をモデルにした絵本です。

岩崎書店

本はともだち

図書館 行こう!

★開室時間: 午前9時～午後5時
★休室日: 毎週月曜日
★電話・ファックス: 3611044

広報クイズ

次の2つの問題を読み、3つの答えの中から正しいものを選び、はがきで応募してください。①は11から、②は15からの出題です。

①本年度の村の一般会計予算額はいくらでしょう？

- A 9億9200万円
- B 19億9200万円
- C 29億9200万円

②村の養殖ワカメは3月末で何トの収穫だったでしょう？

- A 1024ト
- B 2024ト
- C 3024ト

【応募方法】

はがきに答え、郵便番号、住所（地区名）、氏名、年齢、性別、世帯主の名前、電話番号を書いて応募してください。正解者の中から抽選で5人に図書カードをプレゼントします。

はがきに広報ふだいの感想、ご意見、イラストなど書いてください。紙上で紹介します。お待ちしております。

☎あて先…〒028-8392

普代村9-13-2

普代村役場 広報クイズ係

☎締め切り…5月11日(月) 当日消印有効

☎3月号の答え…①-C ②-B

☎応募総数…4通で4人が正解でした。次の4人に図書カードをお送りします。おめでとうございます。

☎当選者…①古沼麻莉亜さん（神奈川県川崎市・9歳）②滝澤光来ちゃん（久慈市・6歳）③滝澤啓光くん（久慈市・4歳）④齋藤千穂ちゃん（芦渡・5歳）

みんなのイラスト展



元氣100倍！アンパンマンだね。②
滝澤光来ちゃん
(久慈市・6歳)



きれいなサクラ！ふだいででもぞろぞろ咲くよ！②
古沼麻莉亜さん
(神奈川県川崎市・9歳)



イチゴがたくさんできてるわね！②
齋藤千穂ちゃん
(芦渡・5歳)



妖怪ウオッチだね！②
滝澤啓光くん
(久慈市・4歳)

「交通事故に気を付けてください」
黄色い傘と帽子が贈られる

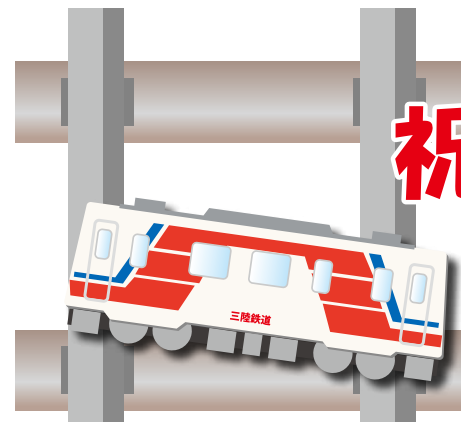
交通事故の防止を願い、普代小学校の新生16人に久慈地区交通安全協会普代分会（宮下俊光会長）から黄色い傘が、村交通安全母の会（長澤美樹会長）から黄色い帽子がそれぞれ贈られました。

贈呈式は4月7日の普代小学校入学式後に行われました。普代分会の宮下会長が「交通事故に気を付けて登校してください」と新1年生一人一人に黄色い傘を手渡ししました。



宮下会長から児童一人一人に黄色い傘が贈られました

た。傘をもらった児童は「ありがとうございます」と元気にお礼しました。



祝 三陸鉄道運行再開一周年



運行再開を村民一丸で祝う



記念列車は11時48分に堀内駅に到着



記念列車内は満員御礼



沢漁港では大漁旗を振り記念列車を歓迎



記念列車は大勢の村民に歓迎され普代駅に到着

東日本大震災の大津波で一部区間が被災し、不通となっていた三陸鉄道北リアス線が、昨年の4月6日に運行を再開し、1周年たった4月5日に記念列車が運行されました。村では堀内駅、沢漁港、普代駅で総勢約100人による記念列車を歓迎するイベントが行われました。

11時48分に記念列車が堀内駅に到着。約30人の村民の皆さんが用意された手旗を記念列車に向かい振り、おもてなしの心を示しました。

記念列車は11時50分ごろに大沢橋梁を通過。記



手旗を振り、記念列車を迎え入れる村民の皆さん

念列車を待ちわびていた約10人の村民の皆さんが竹に結び付けた大漁旗を一緒に振りました。NHK朝の連続テレビ小説「あまちゃん」の一場面

を思い出してから、車両からは「ありがとう」などと言う声が飛び交いました。

記念列車は11時58分に普代駅に到着。ホームで村民の皆さんが「祝三鉄」と描かれた手旗を振り、記念列車を迎え入れました。

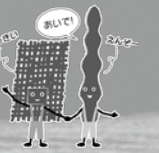
記念列車の車内では堀内駅から普代駅までの間、職員による普代村こんぶ饅頭と観光パンフレットが配布されたほか、各駅などでイベント参加者へこんぶ饅頭のお振る舞いが行われました。

また久慈駅12時13分発でも記念列車が運行し、その列車にも同様のおもてなしを

イベント参加者へこんぶ饅頭のお振る舞いが行われました



て運行再開1周年を村民一丸となって祝いました。



くらしの情報

義援金、支援金

(3月1日～3月31日分、敬称略)

▶イトウイサオ 5,000円 ▶モクザイリヨウポイント 5,364円 ▶森田勝 1万円 ▶三陸鉄道募金箱 27,034円 ▶矢巾町 31,536円

これまでの合計額 **64,636,019円**

※義援金、支援金は復興支援事業などに活用されています。

ふるさと応援寄付金

(3月1日～3月31日分、8人)

これまでの合計額 **10,785,782円**

戸籍の窓

3月分(敬称略・順不同)

お誕生おめでとう (1人)

野場瑠璃星 (奨・可南子) 堀内

ご結婚おめでとう (1組)

安原 正人) 埼玉県
坂上 美香) 堀内

お梅やみ申し上げます (3人)

高屋敷フク 茂市 94歳
太田 徳三 太田名部 78歳
大上 泰久 太田名部 80歳

交通安全 対策情報

■村内の交通事故《3月》

人身事故 0件 (0件)
物損事故 4件 (11件)
※ ()内は1月からの累計

■救急車の出動回数《3月》6回

■飲酒運転検挙状況 (県交通安全対策協議会調べ)

県内33市町村中ワースト順位…**15位**
(平成27年2月28日現在)
村内の検挙者数《2月》0人(0件)
県内の検挙者数《2月》25人(50件)
※ ()内は1月からの累計

ご存じですか!

後期高齢者医療保険の人へ

お医者さんにかかる時には窓口を保険証を提示してください。かかった医療費の自己負担額が1割、もしくは3割になります。

自己負担割合	所得区分
3割	現役並みの所得者 市町村民税の課税所得が145万円以上の被保険者やその人と同じ世帯の被保険者
1割	現役並みの所得者、低所得者Ⅰ、低所得者Ⅱ以外の人。 低所得者Ⅰ 世帯の全員が市町村民税非課税でその世帯の各所得が必要経費控除を差し引いたときに0円となる人 低所得者Ⅱ 世帯の全員が市町村民税非課税の人

そのほか、被保険者の年収などで自己負担の割合が変わりますので、詳しくは役場住民福祉課 ☎ 35-2113) までお問い合わせください。

コナラ造林へ補助金を交付

村では森林資源の確保と森林の多様な公益的機能の発揮、緑地の保全を図るため、コナラ造林に対し補助金を交付しています。村での補助は査定事業費の10%以内で、国と県の補助金も合わせると補助額は50%以上になります。

お問合せは役場農林商工課 ☎ 35-2115) または久慈地方森林組合 ☎ 0194-72-2747) まで。

弁護士無料出張相談を開催

県では、久慈広域消費生活センターの消費生活相談に併せて、次のとおり弁護士の無料相談会を開催します。遺産分割やローンの支払いなどお困りの問題がございましたらお気軽にご利用ください。※4月から相談者の待ち時間を軽減するために予約を受け付けることとしました。

▶日時…4月27日(月) 13:30～15:30 ※予約優先

▶場所…普代村役場(2階会議室)
お問い合わせなどは役場住民福祉課 ☎ 35-2113) または久慈地区被災者相談支援センター ☎ 0120-934-755) まで。

小～高校生の医療費を助成

村では、小学生から高校生までを対象に医療費の自己負担を次のとおり全額助成しています。

▶助成期間…就学時から18歳に達した年度の3月31日まで

▶対象医療機関…保健医療機関と保険薬局

▶申請に必要なもの…医療費給付申請書、医療費の領収書、印鑑、健康保険証 ※初めての申請の場合は金融機関の通帳も必要です。また消えるボールペンや鉛筆などでの記入はご遠慮ください。

申請は1カ月ごとにお願います。また学校管理下の負傷・疾病で日本スポーツ振興センター法の給付を受ける場合はそちらの制度が優先されます。お問い合わせなどは役場住民福祉課 ☎ 35-2113) まで。

6/1は自動車税の納期限

自動車税は4月1日現在の自動車の所有者が納める税金です。納税通知書は4月末に皆さんのお宅に届く予定です。納期限までに忘れずに納めましょう。また4月1日現在で車検が切れたまま6カ月経過している自動車については納税通知書を送付しません。この自動車を使用する予定がある場合は自動車税を納めていただく必要がありますので、県税室までお問い合わせください。

▶問い合わせ先…県北広域振興局県税室 ☎ 0194-53-4986)

広報送料をお願いします!

平成27年4月から翌年3月までの1年間、引き続き「広報ふだい」の送付を希望する人は、1年分の送料を次のとおり現金または小為替などで送付するか、直接お持ちください。すでに送料を納めている人、ふるさと普代会員の方は除きます。

▶送料…①ヤマト便 1,560円(130円×12カ月) ②郵便 1,680円(140円×12カ月)

▶送付先…〒028-8392 岩手県下閉伊郡普代村9-13-2 普代村役場総務課広聴広報係

NHK・BSプレミアム「きらり!えん旅」で宮川大助・花子さんが普代村にやってきます!!

震災で大きな被害を受けた東北を励まそうと、三陸沿岸市町村を訪ねるNHK・BSプレミアムの番組「きらり!えん旅」で、宮川大助・花子さんが普代村にやってきます。

そこで! 宮川大助・花子さんに村の良さをアピールしてくれる人を募集します!

おすすめの風景や隠れた穴場、伝統料理・芸能のほか、村の魅力を伝えたい人はその内容と連絡先を手紙やはがき、ファックス、メールなどでお知らせください。

普代村の素晴らしさを全国に広めましょう!!

宮川大助・花子さんが普代村を旅するのは6月25日(木)から27日(土)までの3日間です。たくさんの応募をお待ちしています!締め切りは5月22日(金)です。

「ふるさと自慢」の応募先は

宛先: 〒150-0047 東京都渋谷区神山町5-20 神山町小川ビル
(株)NHKプラネット「きらり!えん旅」係
FAX: 03-3485-3984 Eメール: entabi@nhk-pn.jp

「えん旅」の「えん」とは東北を「応援」しようという「援」、ふるさと自慢を訪ね歩き、地元の人と「ご縁」をつなぐ「縁」、旅の終わりにステージで芸を披露する「公演」の「演」など、さまざまな意味が込められています。

定期無料相談

6件とも事前に予約が必要です

困っていたら相談を!

久慈地区法律相談

▶期日…5月8、21日(木)▶時間…10:30～15:30▶場所…久慈市役所▶問い合わせ先…久慈市役所生活環境課 ☎ 0194-52-2111)

多重債務者相談

▶期日…4月23日(木)▶時間…9:00～15:00▶場所…久慈市・久慈広域消費生活センター▶問い合わせ先…同センター ☎ 0194-54-8004)

くらしとお金の安心相談会

▶日時…5月20日(水) 10:00～16:00▶場所…久慈市・久慈広域消費生活センター▶問い合わせ先…同センター ☎ 0194-54-8004)

久慈保健所での相談

エイズ・肝炎ウイルス・性器クラミジア検査、骨髄バンク登録

▶日時…5月12日(火) ①エイズ・肝炎・性器検査: 15:00～18:00 ②骨髄バンク登録(要予約): 15:00～18:00

精神保健福祉相談

▶日時…5月22日(金) 13:30～(要予約)

ひきこもり相談

▶日時…5月18日(月) 14:00～15:30
3件とも、問い合わせ先は久慈保健所保健課 ☎ 0194-53-4987)

5月の行事

- ・こどもまつり
- ・普代小運動会
- ・鶺鴒神社例大祭 などなど…

おやき、ドーナツ、かき氷、販売します!

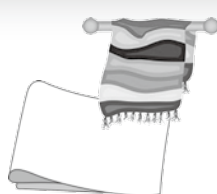
中央区 三船製菓 ☎ 35-2020

皆様のご厚意に感謝申し上げます。

前号で広告掲載以降、多くの皆さまから「ウエス(お尻拭き)」をご寄付いただきました。皆さまのご理解とご協力に感謝申し上げます。

なお、引き続き受け付けておりますので、今後ともよろしくお願いたします。ご一報いただければお宅へ伺います。

ご連絡は特別養護老人ホームうねとり荘 ☎ 35-3577) まで。



普代小児童作
「アース君」

5月のこんなこと、あんなこと						
日	月	火	水	木	金	土
		28 (赤口)	29 (先勝) 昭和の日	30 (友引)	1 (先負)	
3 (大安) 憲法記念日	4 (赤口) みどりの日	5 (先勝) こどもの日 緑の村子どもまつり	6 (友引) 振替休日		9 (大安) 体育施設無料開放日	
	11 (先勝) ・健康相談 (芦渡)	12 (友引) ・1歳6カ月児・3歳児健診 (受付 12:00~12:30、㊟) ・ブックスタート		15 (大安) ・健康相談 (鳥居・堀内机)	16 (赤口) 普代中学校体育祭	
17 (先勝)	18 (仏滅) ・健康相談 (沢向)	19 (大安) ・2歳児健康教室 (受付 12:00~12:15、㊟)	20 (赤口) 	22 (友引)	23 (先負) 普代小学校運動会	
24 (仏滅)	25 (大安) 鵜鳥神社例大祭	27 (先勝) ・2歳6カ月児歯科教室 (受付 12:00~12:15、㊟)	28 (友引) ・乳児健診 (受付 12:00~12:30、㊟) ・ブックスタート			㊟は保健センター ㊠は北緯40度野球場 ㊡は社会体育館 ㊢は管理センター ㊣はふれあい交流センター ㊤は医科診療所 ㊦は海洋センター ㊧ははまゆり子ども園
31 (大安) 第1回教育長杯マレットゴルフ大会 (黒崎マレットゴルフ場)						

畳工事一式、内装工事、ふすま・障子・屏風張替

沢口畳店

普代村13-12-8 TEL・FAX 35-2561

～宿泊・宴会・仕出し 承ります～

北三陸 ふだい 国民宿舎くろさき荘

〒028-8351
岩手県下閉伊郡普代村第2地割字下村84番地4
TEL 35-2611
FAX 35-2872

軽乗用車 軽トラック ライトバン 1.5tトラック 10人乗りワゴン

レンタカー始めました!

お気軽にご相談ください

軽自動車は10分100円(税別)で必要な時間だけ利用できます。

(有)ガレージナカタ 普代村23-22-43 TEL 35-3132

新サービス!「AR」のご案内

【利用方法】
①「Appstore」または「GooglePlay」で「COCOAR」をダウンロード。パンダマークが目印です。※アプリのダウンロードは無料です
↓
②COCOARで指定された写真(本号では表紙)を撮影すると動画が流れ始めます!

表紙にスマホなどをかざして動画をGET!!

ながさわ

お料理・お飲み物プラン、オードブル
ご相談ください。
ご予約お待ちしております!

ゴールデンウィーク中も営業いたします。

●営業時間 昼:11:30~13:30(要予約) 夜:18:00~23:00
●定休日 昼:日曜日・月曜日 夜:日曜日
普代村中央区 電話 35-2313 携帯 090-5833-1637

DVDダビング

大切な思い出をDVDに永久保存!

ビデオテープをDVDに! ベータ・8ミリ・DVCのテープからもOK!
当店通常価格1枚120分まで1,500円(税込)
8ミリフィルムもダビングOKです!!
価格応談

(有)坂下電化センター TEL 35-2138

元気出して行こうよ!

レバコール

頑張りが効かないあなたに...
偏りがちな食生活に
良質なアミノ酸でサポート

2本入り 3,888円
4本入り 7,020円

高橋薬局 中央区 電話 35-2045 FAX 35-2827

イヤーアルバム

追加8ページ 無料!

16ページのお値段で24ページに!

2015年5月31日(日)注文分まで

肖像写真 技能士
カトウ写真館
フジフィルム純正処理
普代横町
Tel (35)2594

塗装

茂石総業 代表 茂石祐次 ☎35-2933

使い捨て、ワンデー、2ウィーク
コンタクトレンズ各種販売
電話注文OKです

めがね一式 ¥15,000 (税抜き)

普代村中央区 まつば時計店 ☎35-2276

普代ポイントカード会からのお知らせ!!

毎月2,000円の商品券が当たるラッキーチャンス。3月当選者は以下5名です。

赤坂拓代様(太田名部) 太田恵子様(太田名部) 金子麻美様(黒崎) 源田晴菜様(中央区) 下坪律子様(黒崎)

普代ポイントカード会 普代商工会内 ☎35-2132

お買い物は、ぜひ普代ポイントカード会加盟店のご利用をお願いいたします。



はまゆり子ども園の卒入园式と、普代中学校の卒入学式が3月14日から4月8日までの間にそれぞれ行われ、保護者や先生、来賓に見守られる中、園児や児童生徒が式に臨み、思い出多き学び舎や仲間との別れを惜しみながらも新しい出会いに胸を膨らませました。普代中では3年生26人が卒業。式では3年間の思い出が募ってか生徒の涙、成長を見届けた保護者の涙が見られました。今年の卒業生は全員受験にも成功。4月からそれぞれの新生活が始まっています。



普代中では26人が夢に向かい旅立ちました



子ども園では元気な返事をし13人が入园



子ども園では17人が卒園。元気いっぱい普代小学校に入学しました



思い出を胸に22人の児童が小学校を卒業

心算街道で頑張ります！普代中には19人が入学

3/14 普代中卒業式	4/6 普代中入学式
3/20 普代小卒業式	4/7 子ども園入园式
3/24 子ども園卒園式	4/8 普代小入学式

人口と世帯

3月末現在

	前月比	前年比
人口	2,880人 (-27)	(-61)
(男)	1,397人 (-15)	(-36)
(女)	1,483人 (-12)	(-25)
世帯	1,141戸 (+1)	(+7)

▼今年も総務課で広報担当を任せていただきました。無事3年生に進級です▼広報担当のほかにはふるさと普代会の事務局を担当していました。その担当は外れました。ふるさと会の人たちには大変お世話になりました。関わりが少なくなるのは寂しい気もしますが、まったくなくなつたわけではないので、これからもよろしくお願いします▼そのほか三陸鉄道の担当などもして、今月5日の三陸鉄道一周年普代村歓迎イベントにも携わりました。当日はばつとしない天気でしたが、堀内駅、沢漁港、普代駅で総勢約1000人による歓迎イベントを開催できました。ありがとうございました▼それでは皆さん、今年度も広報くださいと下道をよろしくお願います。(下道峻聖◎)

ホッと一息